



公益財団法人 宮城県対がん協会

ともしび

# TOMOSHIBI

MIYAGI  
CANCER SOCIETY

第155号

2022年7月1日

「ともしび」題字は  
(故)黒川利雄博士

## 当協会の 特色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理



写真:宮城県観光プロモーション推進室

## CONTENTS

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| ② 消化器内視鏡検診センター長就任のご挨拶          | ⑩ 黒川利雄がん研究基金           |
| ④ 上部消化管内視鏡検査                   | ⑪ 2021年度がん教育事業         |
| ⑤ がん・生活習慣病健診のご案内               | ⑫ 宮城県がん総合相談支援センターのご案内  |
| ⑥ 新がん検診センター建設                  | ⑬ がん予防クイズ              |
| ⑧ ともしび温故知新                     | ⑭ 健康コラム                |
| ⑨ 河北新報に掲載されました/2022年度がん征圧スローガン | ⑮ ご寄付をいただいた方々・継続寄付のお願い |

早期発見  
早期治療

がん検診は  
定期的な!



グー子ちゃん がん助くん  
がん征圧イメージキャラクター



# 消化器内視鏡検診センター長 就任挨拶

公益財団法人 宮城県対がん協会 がん検診センター

消化器内視鏡検診センター長 千葉 隆士



## 学歴・職歴

2004年3月 弘前大学 医学部 卒業  
2004年4月 東北労災病院 研修医  
2006年4月 東北労災病院 消化器内科  
2009年4月 東北大学大学院消化器病態学分野  
2013年4月 宮城県対がん協会 がん検診センター  
消化器担当医長  
2018年4月 宮城県対がん協会 がん検診センター  
消化器担当科長  
2022年4月 宮城県対がん協会 がん検診センター  
消化器内視鏡検診センター長

この度、消化器内視鏡検診センター長に就任することになりました。私は2013年4月に宮城県対がん協会に赴任し、今年度でちょうど10年目となります。これまでの10年間、前所長の渋谷大助先生と現所長の加藤勝章先生のご指導のもと、宮城県の胃がん検診事業に従事して参りました。先生方のご指導やこれまでの経験を活かしながら、今後は消化器内視鏡検診センター長として気持ちを新たに胃がん検診事業に従事していきたいと思ひます。

さて、宮城県対がん協会はこれまで対策型胃がん検診として胃X線検査を実施してきました。2016年になると厚生労働省の指針が改正され、対策型胃がん検診の検査法として従来の胃X線検査に加え胃内視鏡検査も認められ、50歳以上を対象に胃X線検査または胃内視鏡検査のいずれかを原則2年に1回実施することになりました(ただし胃X線検査については当分の間40歳以上を対象に1年に1回の実施が可能となっています)。これを受け宮城県仙台市では行政、当協会、東北大学病院、仙台市医師会が中心となって仙台市内視鏡検診の実施体制を構築し、2019年度から仙台市の胃がん検診はX線検査と内視鏡検査から選択可能になりました。内視鏡検診導入初年度の2019年度仙台市の胃がん検診は胃X線検診受診者が36,858人、内視鏡検診受診者は9,464人で、約10,000人の方が内視鏡による検診を希望され、内視鏡検診は順調なスタートを切りました。2020年度は新型コロナウイルス流行の影響で検診の延期や中止が相次ぎ、胃X線検診の受診者数は26,854人で2019年度に比べ約10,000人も減少しました。一方で2020年度の内視鏡検診受診者数は13,786人で2019年度より約4,300人増加しました。コロナ禍にも関わらず内視鏡検診受診者が増加したのは、内視鏡検診の導入を多くの市民が望まれていたことが要因の一つではないかと考えられます。

当協会では胃X線検査で精密検査該当となった方や仙台市内視鏡検診、人間ドックなどで併せて年間約10,000件の内視鏡検査を実施しています。内視鏡検査は当協会常勤医と、東北大学病院をはじめとした仙台市内の病院の内視鏡のエキスパートの先生達が担当しています。内視鏡画像や組織検査の結果は後日、読影医が見直して、病変の見落としがないか、組織検査の結果と内視鏡の所見に矛盾がないかを確認します。このように内視鏡検査医によるチェックと、読影医によるチェックの“ダブルチェック”を実施することで当院は精度の高い内視鏡検査を実施しています。

内視鏡検査という“オエツとなる”、“ゲーゲーする”、という「苦しい検査」のイメージがあって躊躇している方も少なくないと思います。確かに通常使用される経口内視鏡は直径8-9mmほどなので、喉に麻酔をしてもなかなか大変な検査だと思います。しかし、内視鏡機器は日々進歩しており、近年は直径6mm以下で明るさや画質が経口内視鏡と遜色のない細径内視鏡が開発され広く普及しています。細径内視鏡は通常径の内視鏡よりも検査中の喉の違和感は少なく、また、細径内視鏡を鼻から挿入して行う“経鼻内視鏡”であれば内視鏡が舌に触れずに検査できるため、反射が少なく楽に検査を受けることができます。当協会ではこの細径内視鏡を多数導入しており、検査当日に希望して頂ければ細径内視鏡での経口・経鼻内視鏡検査を実施できるようにしています。それでも反射がひどい、不安が強い方は、鎮静剤という眠くなるお薬を注射してから内視鏡検査をすることもできます(ただし仙台市内視鏡検診では鎮静剤の使用はできませんので細径内視鏡での検査をお勧めしています)。

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の流行の影響で2020年度の全国の胃がん検診受診者は前年に比べ32%も減少しました。2021年度の受診者数は増加傾向にありますが、それでも2019年度に比べると13%近く少ない状況です。がん検診の受診を控えると早期がんの発見が減少し、治療困難な進行がんが増加する可能性があります。新型コロナウイルス感染症は恐ろしい感染症ですが、2021年度に新型コロナウイルス感染症が原因で亡くなった方が約29,000人だったのに対し、がんによる死亡数は378,500人にのぼると国立がん研究センターでは予測しています。コロナ禍でも感染対策をきちんとしたうえで検診を受け、なるべく早期のうちにがんを発見し治療することが重要です。コロナ感染症は未だ収束の目処は立っていませんが、全国的にワクチン接種が進み、薬の開発も進行しています。また、がん検診会場では受診者の健康状況(体温、かぜ症状の有無)のチェックや会場における受診者間隔の確保、会場設備や機器の消毒などを徹底していますので安心して検診を受けて頂けたらと思います。

宮城県対がん協会では精度が高いのはもちろん、苦痛が少なく安心・安全な検診の提供に努めて参ります。皆様にはこれまで以上にご指導ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



# 上部消化管内視鏡検査について



上部消化管内視鏡検査は、一般的に「胃カメラ」検査と呼ばれ、口や鼻から内視鏡を入れて、咽頭から食道や胃、十二指腸に異常がないかを確認していく検査となります。

今回は宮城県対がん協会での上部消化管内視鏡検査についてお話ししたいと思います。

まず、当協会で内視鏡検査を受診するには事前の予約が必要となります。

現在、市町村や事業所の胃がん検診では胃X線検査（バリウム検査）と内視鏡検査を選択して申し込み出来るところが増えてきました。当協会での内視鏡検査をご希望の方は、お申し込み先によって検査日の入った受診券が届く場合と受診券が届いた後にご本人様から当協会へ検査日の予約の電話が必要な場合がありますのでご確認ください。

個人的にお申し込みいただいて予約することも可能ですので、X線検査が苦手な方やしばらく胃がん検診を受診していない方は一度ご相談だけでも良いのでご連絡ください。

今まで内視鏡検査を敬遠されてきた方の中には苦しい、怖いなどの印象をお持ちの方が多いかと思ひます。そこで当協会では、口からの内視鏡検査が苦手な方のために、管が細い内視鏡や眠くなる注射（鎮静剤）の用意があり、鼻から内視鏡を入れての検査も可能です。また、午前中のみ行っていた検査を午後の時間にも拡大し、より多くの方が受診しやすい環境を整えるよう努めております。午前と午後では食事等の注意事項が異なるので詳しくは下記をご覧ください。

次に検査当日の流れのご案内です。

当日は受付を済ませると問診があります。問診は看護師が既往歴や内服中のお薬、ピロリ菌の除菌についてなど確認いたします。前述した細い管の内視鏡や鼻からの内視鏡、鎮静剤などのご希望や何か不安なことがあれば、その際にご相談いただければと思います。そして、この後に内視鏡を受けるために喉、または鼻に麻酔をし、ご希望の方には鎮静剤をして、検査となります。検査は6～7分ほどで終了し、医師から検査結果について説明があり、お会計後、すべて終了となります。

さらに後日、医師がもう一度検査の際に撮影した写真を確認して最終的な診断がつき、約1か月後に結果通知書を送付しております。もし治療を急ぐような時は、最終診断がつき次第、速やかに看護師からご連絡を差し上げるのでご安心ください。

胃がんは2020年がん死亡数の第3位となっています。症状が出た時には進行がんとなってしまうことが多いため、症状がなくても定期的な検診を受診することが大切です。

「異常なし」を確認するためにも、定期的に胃がん検診を受けましょう！

## ◎検査前日

### 【午前検査の方】

- 前日の夕食は消化の良いものを午後8時頃までに済ませてください。それ以降お摂りいただけるのは水またはお茶のみです。
- 内服薬は通常通りお飲みください。

### 【午後検査の方】

- 食事の制限はありません。
- 内服薬は通常通りお飲みください。



## ◎検査当日

### 【午前検査の方】

- 検査当日の朝食は摂らず、水またはお茶をコップ1杯以上飲んで来てください。
- 心臓病・高血圧症の薬を飲んでいる方は、朝早めに飲んで来てください。

### 【午後検査の方】

- 朝食は右記の例を参考にして午前8時までに召上がり、それ以降は何も食べずに、水またはお茶を多めに飲んで来てください。
- 心臓病・高血圧症の薬を飲んでいる方は、朝食後に飲んで来てください。



|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 和食の例 | ごはん1膳<br>おかずは納豆や豆腐<br>みそ汁のスープのみ(具なし) |
| 洋食の例 | 食パン2枚(ジャム可)<br>お茶、紅茶、<br>コーヒー(ミルク不可) |

※食べられないもの  
野菜、漬物、海藻(海苔、ワカメなど)  
乳製品(牛乳、ヨーグルトなど)

いつまでも健康でいるために、まずは今のあなたの健康状態をよく知り、毎日の生活を見直してみませんか

# がん・生活習慣病健診のご案内

## 健診の流れ

- 1 受付(7:30～9:00) →
- 2 採尿 →
- 3 問診・血圧測定 →
- 4 胸部X線検査 →
- 5 腹部超音波検査 →
- 6 身体計測・視力測定 →
- 7 採血 →
- 8 心電図検査 →
- 9 聴力検査 →
- 10 肺機能検査 →
- 11 眼底検査 →
- 12 胃X線検査 →
- 13 診察(9:30～)

## オプション検査 (一例)

- 胃内視鏡検査 ■CT検査(肺・内臓脂肪) ■前立腺がん検査 ■骨粗鬆症検査
- C型肝炎検査(血液検査) ■ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査
- アルコール体質検査 ■子宮頸がん検診 ■乳がん検診

胃X線検査から胃内視鏡検査への切り替えなど、ご希望に応じたオプションを追加することが可能です。詳細はお問い合わせください。



## 健診を上手にうける 5つのポイント

Point 01

### 30代が健診年齢

「がん」などの生活習慣病は40歳代から増加傾向が見られます。早期発見、生活習慣改善のためにも、元気な30代のうちから受診習慣を。

Point 02

### 原則として年に一回は必ず受ける！

昨年異常がなかったからといって安心は禁物。必ず年に一回は受診し、健康状態をチェックしましょう。

Point 03

### 「精密検査」を怖がらない

健診後に「要精密検査」の結果が出ても、まだ病気だと決まったわけではありません。こわがらずに必ず受診しましょう。主治医のいる方は、検査結果を報告しましょう。

Point 04

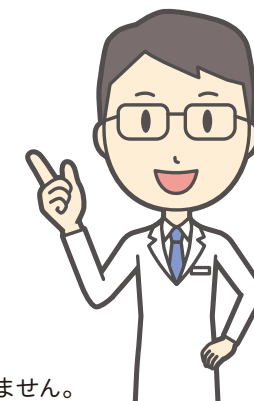
### 健診結果を生活習慣改善に活かす

健診は、病気の早期発見だけでなく日頃の生活習慣を見直すきっかけになります。健診結果や注意事項を参考に、今後の生活習慣の改善に役立てましょう。

Point 05

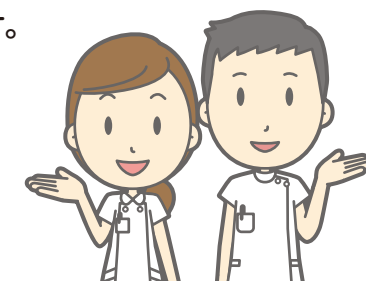
### 結果の管理は健康管理の基本

健診結果は、あなたの健康状態の履歴書です。大切に保管し、健康管理に活かしましょう。



全国健康保険組合(協会けんぽ)や宮城県市町村職員共済組合等と委託契約を結び、健診機関として登録されておりますので皆様のご利用をお願いいたします。

宮城県対がん協会ではコロナ感染症対策に取り組み、予約制で半日人間ドックや健康診断を行っております。午後健診にも対応しておりますので、ご希望の場合はドック推進課までお問い合わせください。



公益財団法人 宮城県対がん協会

がん検診センター ドック推進課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7-30



TEL 022-263-1528

【受付時間】 月～金 9:00～17:00  
(土日・祝日・休日は除きます)

個人様から事業所様まで幅広くご予約をお待ちしています



# 新がん検診センター建設始動!!



【完成予想図】



【女性専用がん検診フロア】



【がん・生活習慣病健診フロア】



【エントランスホール】

## 国内初の民間がん検診センターが紡ぐ、がん征圧の歴史

1958年、初代会長故黒川利雄先生の崇高な理念のもとに宮城県対がん協会は設立され、以来60年以上にわたり、がん征圧に向けて活動してまいりました。こうしたがん征圧運動を支える拠点として、1968年、国内初となる民間のがん検診センターは建設され、宮城県のみならず日本全国のがん検診センターの歩みが始まりました。現在のがん検診センターは1981年に移転、建設され、40年以上の長きにわたり使命を果たしてまいりましたが、老朽化や東日本大震災における建物への損傷に加えて、新しいモダリティやバリアフリー化への対応など時代の要請に応えるべく、新がん検診センターの建設に着手いたしました。現がん検診センター敷地内駐車場に加えて、隣接する土地を購入して建設スペースを確保し、2024年4月のオープンを目指しております。

## 新がん検診センターの特色

新しいがん検診センターでは、これまでのがん検診センターの使命や目的を踏まえた上で、1階はがん・生活習慣病健診フロア、2階は消化器内視鏡検診フロア、3階は乳がん・子宮がん検診に対応する女性専用のがん検診フロアとし、それぞれの機能を集約させます。ウィズ・アフターコロナ時代においても安心・安全に検査を受けられる受診者ファーストの施設環境整備を目的とした次世代型のがん検診センターとして皆様のご期待に応えられるような施設を目指してまいります。

これまでのがん検診センターは、宮城県内の政財界、自治体、医師会及び県民の皆様の多大なご支援により建設されました。今回の新がん検診センター建設につきましても、募金委員会を設置し広く募金活動を行う予定ですので、皆様にはより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 新知故温 第二回

昨年から始まった「ともしび温故知新」。第二回は、今号でも取り上げております、新がん検診センター建設構想についてです。但し2代目の。

今回振り返るのは、42年前の1980年4月発行のともしび第46号。日本が不参加を表明したモスクワ五輪が開催され、ゲームウォッチやルービックキューブが発売され大流行。プロ野球王貞治さんが現役を引退した年でもありました。記事では、1968年に日本で初めて建設された初代「がん検診センター」が大きな注目と期待を集め、検診受診者が急増。1977年には、今年6月に受診者数

200万人を達成した乳がん検診も開始されるなど検診種目も増え、建物が手狭になった様子が書かれています。また、宮城県や各市町村、各種団体様からの篤志による多大なご支援を賜っていることが伺え、宮城県全体からの新がん検診センターへの期待が感じられます。2024年に完成を予定している3代目がん検診センターも、皆様からのご支援を賜り、協会職員一丸となって、ご期待に応えられる施設にしていきたいと考えております。



## 河北新報から 取材を 受けました！

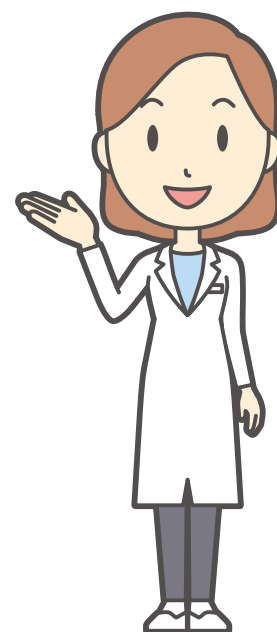


河北新報で「いぎなり仙台」という企画を行っていることをご存じですか？  
 河北新報の記者の皆さんが気になる仙台圏のお薦めスポットやグルメ、話題をテーマごとに紹介する企画で、その中の「一番探すべし」というテーマに宮城県がん協会が選ばれ、夕刊の一面に掲載されました。  
 昨年暮れに協会を訪れた河北新報記者の櫻田さんは、黒川記念室を見学した後、加藤所長、深尾研究局長を訪ね、黒川利雄初代宮城県対がん協会長の話や集団検診の歴史を丁寧に取材され、とても素敵な記事を書いてくださいました。河北新報のオンラインニュースで記事を見られますので、是非ご一読ください。



2022年度

「がん征圧スローガン」が決定しました



最優秀賞



優秀賞

がん検診  
私にできる  
がん対策

鹿児島県支部 高野 梢 さん作

がん検診 不要不急と 言わないで  
愛知県支部 西川 和彦 さん作

その笑顔 失くさぬために がん検診  
広島県支部 新 秀幸 さん作

続けよう 感染予防と がん検診  
山形県支部 樋渡 文 さん作



# 黒川利雄がん研究基金

## 2022年度研究者決定

「黒川利雄がん研究基金」は、がんの予防及び早期発見・治療に関する開発等に携わる若手研究者に対し研究助成を行うことを目的に1989年に創設され、今年で33回目となりました。今年1月から3月までの期間で全国に公募をしたところ、9件の応募があり、4月25日に「研究基金」の運営委員会を開催し申請者の研究内容を慎重に審議した結果、2022年度の研究者は下記の4件4名と決定いたしました。今年度の研究助成額は220万円で第1回から数えると134名の研究者に対して総額8,670万円の研究助成金を贈ったことになります。

研究助成金の贈呈式は、去る6月7日仙台市内の会場で行われ、当協会の下瀬川 徹会長からの挨拶で始まり、運営委員会の正宗 淳委員長から選考までの経過報告があり、加藤 勝章がん検診センター所長から研究者を紹介いたしました。

続いて下瀬川 徹会長より、研究者1人ひとりに研究助成証書と助成金が贈呈され、さらに黒川先生が座右の銘としていた「山上に山あり 山また山」を刻んだ石版が贈られ、最後に研究者を代表して嶋田 修一先生より謝辞が述べられました。

## 2022度「黒川利雄がん研究基金」研究助成対象及び研究者

|   | 研究主題                                               | 氏名             | 所属                        | 助成金  |
|---|----------------------------------------------------|----------------|---------------------------|------|
| 1 | DNAメチル化状態に基づいた頭頸部癌薬物療法のバイオマーカー開発                   | 西條 憲<br>(43歳)  | 東北大学病院<br>腫瘍内科            | 70万円 |
| 2 | 去勢抵抗性前立腺癌におけるミオフェリンを標的とした新規治療戦略の確立                 | 嶋田 修一<br>(45歳) | 東北大学病院<br>泌尿器科            | 50万円 |
| 3 | 臨床病期ⅠA期非小細胞肺癌におけるリンパ節転移陰性因子ならびにリンパ節郭清が免疫系に与える影響の検討 | 小野寺 賢<br>(38歳) | 東北大学病院<br>呼吸器外科           | 50万円 |
| 4 | 画像強調内視鏡による食道表在癌の視認性の検証と新規食道癌リスク診断モデルの開発            | 尾形 洋平<br>(32歳) | 東北大学大学院医学系研究科<br>消化器病態学分野 | 50万円 |

※年齢、所属は2022年3月現在(申請時)



記念碑前での研究者記念撮影



贈呈式会場での記念撮影  
後列左より阿部事務局長、正宗委員長、加藤所長、伊藤所長  
前列左より尾形先生、嶋田先生、下瀬川会長、西條先生、小野寺先生

# 2021年度がん教育事業終了

がん教育事業は、がんの予防、がんという病気そのものに対する理解を深めるとともに、「がんになっても安心して暮らせる社会」を構築するため、がんに関する正しい知識の普及啓発を行うものです。また、近年、若年期女性の子宮頸がんの罹患数増加は顕著であるにもかかわらず、検診受診率は低い状況にあり、対策を講じる必要性・重要性が高いことから、県内の大学等の女子学生等を対象に、がん等に関する正しい知識の普及啓発・がん検診の受診勧奨を行っています。



仙台医療福祉専門学校(講師:小澤信義先生)

当協会では2021年度も宮城県より委託を受け、出前授業及びがん予防講演会を実施いたしました。高等学校の授業には講師として当協会の保健師、大学や専門学校等での講演は、おざわ女性総合クリニック院長の小澤信義先生と中川記念ちか子女性クリニック院長の岡村智佳子先生にお願いしました。大学や専門学校等での講演会では、講師の先生方に今話題のHPVワクチンやPMS(月経前症候群)に関するお話にも触れていただき、学生の皆さんも熱心に耳を傾けていました。



仙台第二高等学校(講師:当協会保健師)

## 2021年度がん教育事業学校開催一覧

| 学校名           | 実施日    | 曜日 | 時間                  | 生徒数 |
|---------------|--------|----|---------------------|-----|
| 宮城県塩釜高等学校     | 10月12日 | 火  | 13:20<br>~<br>14:10 | 83  |
| 宮城県登米総合産業高等学校 | 10月19日 | 火  | 13:30<br>~<br>14:30 | 54  |
| 宮城県仙台第二高等学校   | 10月21日 | 木  | 11:30<br>~<br>12:15 | 39  |
| 宮城県小牛田農林高等学校  | 10月28日 | 木  | 13:30<br>~<br>14:30 | 5   |
| 宮城県気仙沼向洋高等学校  | 12月3日  | 金  | 10:50<br>~<br>11:40 | 100 |
| 宮城県蔵王高等学校     | 12月7日  | 火  | 11:55<br>~<br>12:45 | 11  |

## 2021年度がん教育事業大学・専門学校開催一覧

| 学校名                 | 講師                       | 実施日   | 曜日 | 時間                  | 生徒数 |
|---------------------|--------------------------|-------|----|---------------------|-----|
| 仙台白百合女子大学           | おざわ女性総合クリニック 院長 小澤 信義    | 12月2日 | 木  | 16:20<br>~<br>17:50 | 43  |
| 仙台青葉学院短期大学(中央キャンパス) | 中川記念ちか子女性クリニック 院長 岡村 智佳子 | 12月8日 | 水  | 14:40<br>~<br>16:10 | 72  |
| 東北福祉大学              | おざわ女性総合クリニック院長 小澤 信義     | 12月9日 | 木  | 16:05<br>~<br>17:35 | 77  |
| 仙台医療福祉専門学校①         | おざわ女性総合クリニック院長 小澤 信義     | 1月20日 | 木  | 15:00<br>~<br>16:30 | 11  |
| 仙台医療福祉専門学校②         | 中川記念ちか子女性クリニック 院長 岡村 智佳子 | 2月2日  | 水  | 15:00<br>~<br>16:30 | 32  |
| 仙台医療福祉専門学校③         | おざわ女性総合クリニック院長 小澤 信義     | 2月10日 | 木  | 15:00<br>~<br>16:30 | 61  |
| 東北文化学園大学            | 中川記念ちか子女性クリニック 院長 岡村 智佳子 | 2月16日 | 水  | 16:30<br>~<br>18:00 | 17  |

この機会に、多くの人々に対してがんに関する正しい知識の普及啓発を行い、大学生等に対しては若年期女性の子宮頸がんの受診率向上につながるよう啓発活動に力を入れていきたいと思ひます。



# ～宮城県がん総合支援センターのご案内～

がん患者さんやご家族をはじめ、**どなたでもご利用いただける無料の相談窓口**です。

医療をはじめ在宅療養や介護、就労などがんに関する様々な相談に対して一緒に考え、サポートします。

当センターは宮城県から委託を受けて宮城県対がん協会内に設置しています。

**がん なんでも相談** 専門の相談員(保健師)が対応します

**相談方法** 電話・面談(要予約)・メール・手紙・FAX  
TEL: 022-263-1560 FAX: 022-263-1548  
Eメール: [zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp](mailto:zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp)  
《ホームページの相談フォームをご利用ください》

**相談受付** 月曜日～金曜日(祝日・休日、年末年始は除く)  
午前9時～午後4時まで

**費用** 相談にかかる費用は **無料** です  
《通話料は相談者の負担となります》

**場所** 〒980-0011  
宮城県仙台市青葉区上杉5-7-30  
宮城県対がん協会内

宮城県  
がん総合支援  
センターです



※必要な場合は適切な窓口を紹介します。  
※症状や病気に関する診断や治療について判断することはできません。  
※秘密は厳守いたします。

**例えば、こんな時にご利用ください**

- 病気のことを考えると気持ちが沈む、誰かに話を聞いて欲しい。
- 仕事と治療の両立について、どうしたら良いか分からない。
- 医療費が心配。何か使える制度はあるの？
- どの治療法を選べばいいの分からない。
- 家族ががんと言われたが、どう接すればいいの分からない。
- 患者会に参加してみたい。



がんに関する心配や悩み、知りたい情報など  
お気軽にご相談ください。

相談のほかに  
こんなことも行っています

- 「がん患者会・サロン  
ネットワークみやぎ」の事務局
- がんピアサポーター養成研修会の開催

詳細は  
**ホームページ**を  
ご覧ください。

**情報は“力”あなたの療養生活を左右することがあります！**

当センターはがん患者さんやご家族に役立つ情報をお伝えします。  
ご連絡をお待ちしております。

<https://miyagi-gansupport.com/>

宮城県がん総合支援センター

検索



## Q 解いてみよう！！がん予防クイズ！

**クイズ①** 日本人が「がん」になる割合は何人に1人でしょうか？

- ① 2人に1人    ② 5人に1人    ③ 10人に1人    ??



がんにかかる確率…**男性65.0%、女性50.2%**

累積罹患リスク(2018年データに基づく)

※累積罹患リスクとは、ある年齢までにある病気に罹患する(その病気と診断される) おおよその確率

| 部 位    | 生涯がん罹患リスク (%) |       | 何人に1人が |     |
|--------|---------------|-------|--------|-----|
|        | 男 性           | 女 性   | 男 性    | 女 性 |
| 全がん    | 65.0%         | 50.2% | 2人     | 2人  |
| 大腸     | 10.2%         | 8.0%  | 10人    | 13人 |
| 胃      | 10.3%         | 4.7%  | 10人    | 21人 |
| 肝臓     | 3.2%          | 1.5%  | 32人    | 66人 |
| 胆のう・胆管 | 1.5%          | 1.3%  | 66人    | 75人 |
| 膵臓     | 2.6%          | 2.6%  | 39人    | 39人 |
| 肺      | 9.9%          | 4.9%  | 10人    | 20人 |
| 乳房     |               | 10.9% |        | 9人  |
| 子宮     |               | 3.4%  |        | 30人 |

(国立がん研究センターがん情報サービス)

**クイズ②** がんの原因の第1位は遺伝である

- ① ○    ② ×



休肝日



節 酒



禁 煙



バランスのよい食事



適正体重の維持



適度な運動

**望ましい生活習慣によりがんになる危険性を減らすことができる**

出典 国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ 科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成(より一部改変)



**クイズ① 答え** ①2人に1人 「がん」は珍しい病気ではなく日本人の2人に1人がかかる身近な病気です。

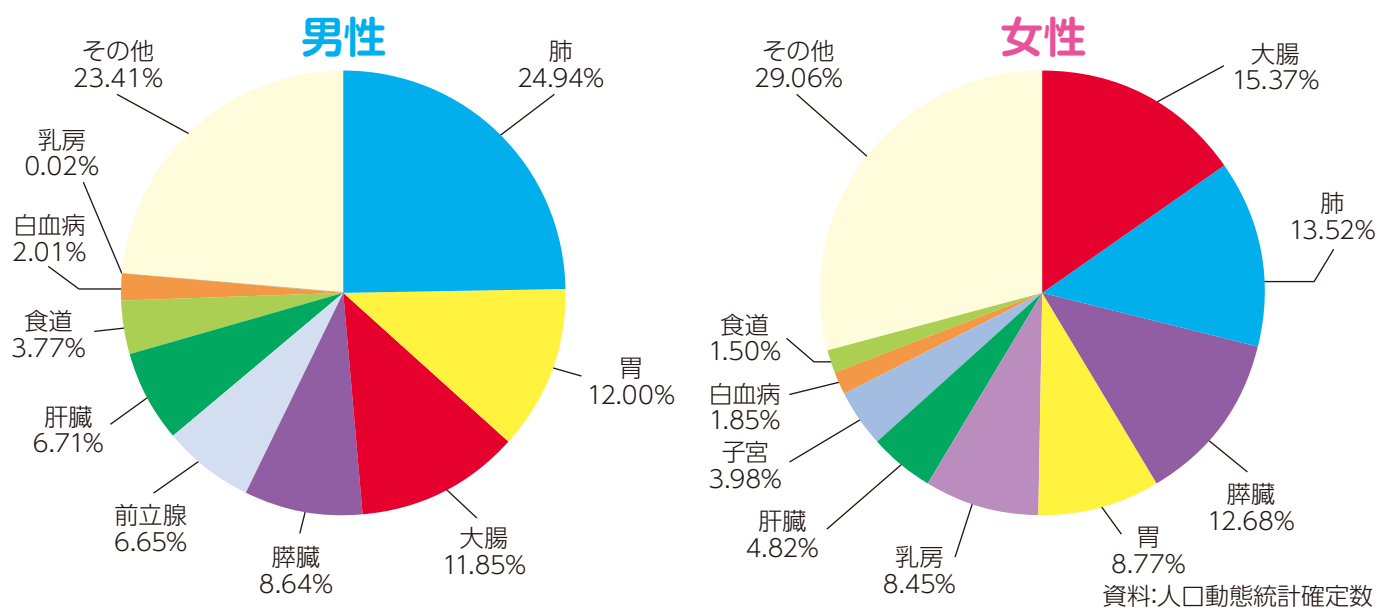
**クイズ② 答え** ②× がんの原因の多くは喫煙や飲酒、食事などの生活習慣で遺伝子に何らかの原因でキズがつき、細胞が異常に増殖した状態です。特に喫煙と不適切な食生活が、がんの要因としては高くなります。遺伝に関する要因は5%程度です。

## 「がん」は実は身近な病気のひとつです

現在、がんは日本人の2人に1人がかかる身近な病気です。がんの死亡者数も1981年以降、39年間連続で死因の1位になっています。

2020年の宮城県の部位別がん死亡数を死因順位別に見ると、1位は男性が肺がん、女性が大腸がんとなっています。

### 2020年がん死亡率の部位別割合（宮城県）



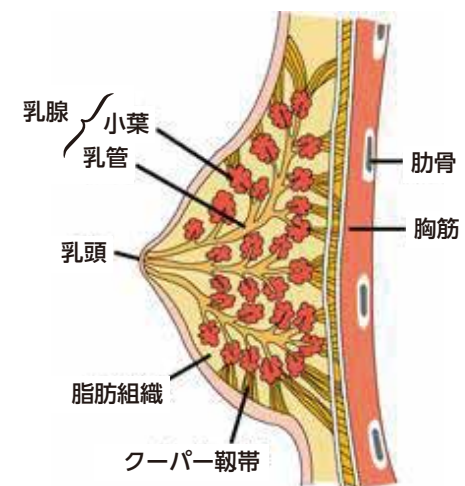
## がんの罹患数の1位は？男性は大腸、女性乳房

宮城県のがんの罹患数(がんと診断される人数)を部位別に見てみると、男性では、大腸、胃、前立腺、肺の順に多く、この4つの部位で全体の6割を超えました。女性では、乳房、大腸、胃、子宮、肺の順に多く、この5つの部位で全体の6割を超えました。(男女ともに上皮内癌を含む)

※引用:宮城県のがん罹患～宮城県がん登録平成30年集計～

👉 今回は宮城県の女性の罹患数1位の乳がんに着目してみたいと思います。

## 乳がんの基礎知識について



乳がんは乳腺に発生する悪性腫瘍です。40歳～50歳代の比較的若年層の女性に多くみられるのが特徴です。乳がんは食生活の欧米化や女性のライフスタイルの変化によって女性のホルモンバランスが変わり、**日本人女性で急増しています。初期のうちは症状がほとんどでません。乳がんは早期がんで見つかれば、治療を受ければ生存率が高くなります。**

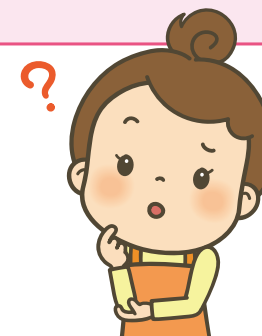
乳房は、母乳(乳汁)を作る乳腺と、それを包む脂肪組織からなります。乳がんの多くは乳腺の中の乳管から発生しますが、一部は乳腺小葉からも発生します。

## 乳がんはなぜできるの？

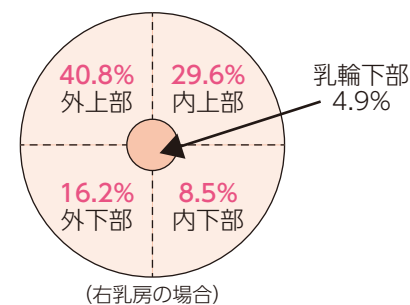
**乳がんは女性ホルモンのエストロゲンの刺激を受けて増殖します**  
エストロゲンの分泌総量が多いほど乳がん発症リスクが高くなります

- 初潮が早く(11歳以下)、閉経が遅い(55歳以上)
- 出産・授乳経験が少ない/ない
- 肥満によるホルモン分泌過剰

現代の女性は乳がんになるリスクが高いといわれています。



## 乳がんがしやすい部分は？(発見乳がんの部位別割合)



2020年度に宮城県対がん協会で行った検診で発見された乳がんは**142例**

**乳がんは上部の外側に多い!!**

2020年度(公財)宮城県対がん協会事業年報

## 乳がんの症状はどんなものがあるの？

### <主な症状>

- しこり  
乳房の内部に、乳腺より硬いものを触れることがあります(痛くない)
- ひきつれ・くぼみ  
なめらかな曲面の乳房に、えくぼ状のへこみやひきつれができることがあります
- 乳頭異常分泌  
乳頭から血液や茶色や黒など色のついた分泌物などが出ます

※ただし早期のうちには自覚症状がない場合が多いので、乳房のわずかな変化を見逃さないことが大切です。

## 乳がん早期発見のポイントは「ブレスト・アウェアネス」

女性自身が自分の乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することを「**ブレスト・アウェアネス**」といいます。これは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療につながる、女性にとって非常に重要な生活習慣です。検診と併せてブレスト・アウェアネスを実践しましょう。

## 実践してみよう！ブレスト・アウェアネス

- 自身の乳房の状態を知るために、日頃から自身の乳房を見て、触って、感じる
- 普段と違う乳房の変化に早く気が付く
  - ・くぼみ、ふくらみ、ただれ、変色、ひきつれはないか
  - ・部分的に硬いところや血が混じった様な分泌物はないか
  - ・上の2つの症状以外にも**普段の乳房の状態と違うところ**はないか
- 乳房の変化に気が付いたら、すぐに専門の医療機関(乳腺外科等)へ行く
- 40歳になったら定期的に乳がん検診(マンモグラフィ検診)を受診する(お申し込みは各市町村又は職場へご確認ください)

次号では乳がん検診200万人達成事業についてふれていきます。お楽しみに!





# ご寄付をいただいた個人・医師・法人

2021年12月1日～2022年5月31日受付分

順不同・敬称略

## 黒川利雄がん研究基金

黒川雄二、太田洋一、大友義孝

## 新検診センター建設寄付金

阿部洋、布田直樹、及川貴司、盛田美樹、田代孝、菊地章子、大友義孝、伊藤尚人、奥山彬、高橋啓、佐藤朝子

## 篤志寄付金

株式会社デンコードー、仙台青葉学院短期大学、泉田京子、大友義孝

## 賛助会員(議会)

塩竈市議会

## 特定維持会員

イシイ株式会社、堀井薬品工業株式会社、伏見製薬株式会社、(有)村山自動車、同和警備株式会社、小林クリエイト株式会社、チバ器械株式会社、有限会社タニウチ印刷、株式会社バイタルネット、七十七リース株式会社、東邦薬品株式会社、ホロジックジャパン株式会社、協業組合仙台清掃公社、株式会社仙台銀行、オリオシステム株式会社、コヤマリネン株式会社、株式会社七十七銀行、コセキ株式会社、同和興業株式会社、株式会社ビー・プロ、東北電力株式会社、ライズ株式会社、杜の都信用金庫、合資会社中北車体工作所、株式会社アイクレーン、カイゲンファーマ株式会社、株式会社トヨタレンタリース宮城、カガワ印刷株式会社

## 賛助会員(法人)

株式会社佐々啓、株式会社深松組

## 賛助会員(農協)

加美よつば農業協同組合、古川農業協同組合、みやぎ亘理農業協同組合、宮城県農業協同組合中央会、いしのまき農業協同組合、(株)ライフサポートわたり、JAみやぎ女性組織協議会、宮城県農村健康管理推進協議会、みやぎ登米農業協同組合

## 賛助会員(医師会)

塩釜医師会 松島病院

加美郡医師会 医療法人佐々木胃腸科、大山匡

柴田郡医師会 猪股芳文、みやぎ県南医療生活協同組合、みやぎ県南中核病院附属村田診療所

## 仙台市医師会

佐藤茂、大岡内科医院、安田敏明、三好耳鼻咽喉科クリニック、今井克彦、安田病院、早川哲夫、黒澤孝成、京極士郎、医療法人貝山仁済会、医療法人社団村口きよ女性クリニック、佐治クリニック、福田内科クリニック、森元富造、高橋メンタルクリニック、町田眼科医院、馬場眼科、医療法人社団 櫻井内科医院、森俊彦、(医)永井小児科医院、渡邊浩光、セイントマザークリニック、医療法人 賢善会宮田医院、國井周太郎、中嶋病院、仙台往診クリニック、遠藤外科医院、医療法人社団 小林眼科医院、医療法人 社団 本島内科胃腸科クリニック、佐藤玄徳内科クリニック、ゆうき婦人科産科クリニック、仙台ソレイユ母子クリニック、河原町病院、広南病院、医療法人 佐竹医院、椎葉健一、医療法人社団清山会、氏家裕明、いのうえ小児科クリニック、今井克忠、福室クリニック、穴戸クリニック、黒澤光樹、医療法人宏人会、角田記念 まつだクリニック内科・消化器内科、結城クリニック、医療法人社団 仙台北クリニック、五十嵐彰、仙台赤十字病院、相田内科医院、国家公務員共済組合連合会 東北公済病院、医療法人社団 白根胃腸クリニック、泉ヶ丘クリニック、台原高柳病院、しなす女性クリニック、仙台南病院、一般財団法人厚生会、今村茂、仙台東脳神経外科病院、塚本二郎、ふるさと往診クリニック、樋渡信夫、戸田守彦、日向野修一、石田一彦、医療法人 清和、仙台オープン病院、早坂愛生会病院、田勢亨、山口正人

## 名取市医師会

金沢内科胃腸科、浜田A&Bクリニック、宮城県立がんセンター、たんのクリニック、医療法人ウイズユー 原田乳腺クリニック

## 亘理郡医師会

みやぎ南部整形外科クリニック

## 賛助会員(宮婦連)

一迫婦人会 熊谷初美、三浦一子、狩野良子、氏家あい子、松田文子

白石市婦人会 石川照代、栗原幸江、村上たき子、佐藤晴代、堀道子、草野いく子、岡崎好子、佐久間美紀、佐藤みや子、国分良子、半沢みつ枝、長谷川治子、横山亜衣

## 個人

郡山芳治、土岐拓也、江刺洋司、遠藤好英、出川博一、面川和信、加藤秀則、小野昭子、林蕙、早坂まつよ

## 職員

針生一恵、村上裕重、鈴木ゆき子、齋藤千晴、千坂みゆき、村上裕一、小野博美、青木晶、中川朋美、齋藤純子、佐藤真由美、小野千恵美、三浦和美、斉藤裕一、大江幸江、高橋尚美

## 賛助会員

(個人・医師・法人の継続寄付)募集しております。

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。**個人**の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の「**所得控除**」と「**税額控除**」のいずれか**有利な方を選択**して控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇措置としては、「**特定公益増進法人**」に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。

## 《寄付金の種類》

### ■賛助会員寄付

協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方

個人会員 1口 1,000円以上の寄付者(個人)

医師会員 1口 10,000円以上の寄付者(医師会)

法人会員 1口 10,000円以上の寄付者(団体・法人)

特定維持会員 寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人

### ■篤志寄付

協会の活動に対する一時的な寄付金

### ■黒川基金

黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

## がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人

宮城県対がん協会

法人総務課 法人事業係

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30

TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548

ホームページアドレス <https://www.miyagi-taigan.or.jp>